



▲昨年の「認知症を考える会」講演会の様子

第5回 認知症を考える会 を開催します

認知症は早期発見・早期治療が大切です。地域、家族とともに認知症について、一緒に考えてみませんか。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

期日 10月31日(月)
時間 午後1時30分～3時30分(受け付け午後1時)
会場 中央公民館3階講堂
申し込み 不要
内容

認知症の中には治る病気や一時的な症状の場合があり、適切な治療を行うことで症状が改善することがあります。早期に医療機関を受診しましょう。

また、アルツハイマー型認知症の場合は、適切な薬の使用で進行を遅らせることができます。

お困りのことがありましたら、独りで悩まずにかかりつけの医師や担当ケアマネージャー、市役所高齢者支援課介護予防包括支援係に相談しましょう。

認知症かな？

と思ったら

▼寸劇
演題 「笑顔で暮らしたい！認知症の方との関わり方」
▼講演会
演題 「認知症の人が生きていく世界」私たちができること」
講師 グリーンアルム福祉会グループホームグリーンクリスタル管理者・認知症介護指導者 斉藤俊一さん

認知症サポーターになりませんか？

認知症は、85歳以上では4人に1人の割合でその症状があるといわれる身近な病気です。

認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らすためには、地域の皆さんが病気について、正しく理解する必要があります。

認知症について、正しい知識と具体的な対応方法を知っていただくため、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。講座を受講した方が「認知症サポーター」となります。受講後は、「認知症の方を支援します」という意思を示す目印のオレンジリングをお渡しします。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る支援者として、自分のできる範囲で活動します。

自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の方やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

これまで、認知症サポーター養成講座を民生児童委員協議会・地区社会福祉協議会・地区のいきいきサロン・中野立志館高校・北信総合病院・市役所などで開催してきました。

市には、平成23年9月末現在、1,544人の認

知症サポーターがいます。

市に在住・在勤・在学している小学生以上の方でしたら、どなたでも受講ができます。

認知症サポーター養成講座の開催については、市役所高齢者支援課介護予防包括支援係までご連絡ください。



▲認知症サポーター養成講座の様子

**『認知症になっても
安心して暮らせるまち』
をつくるために**

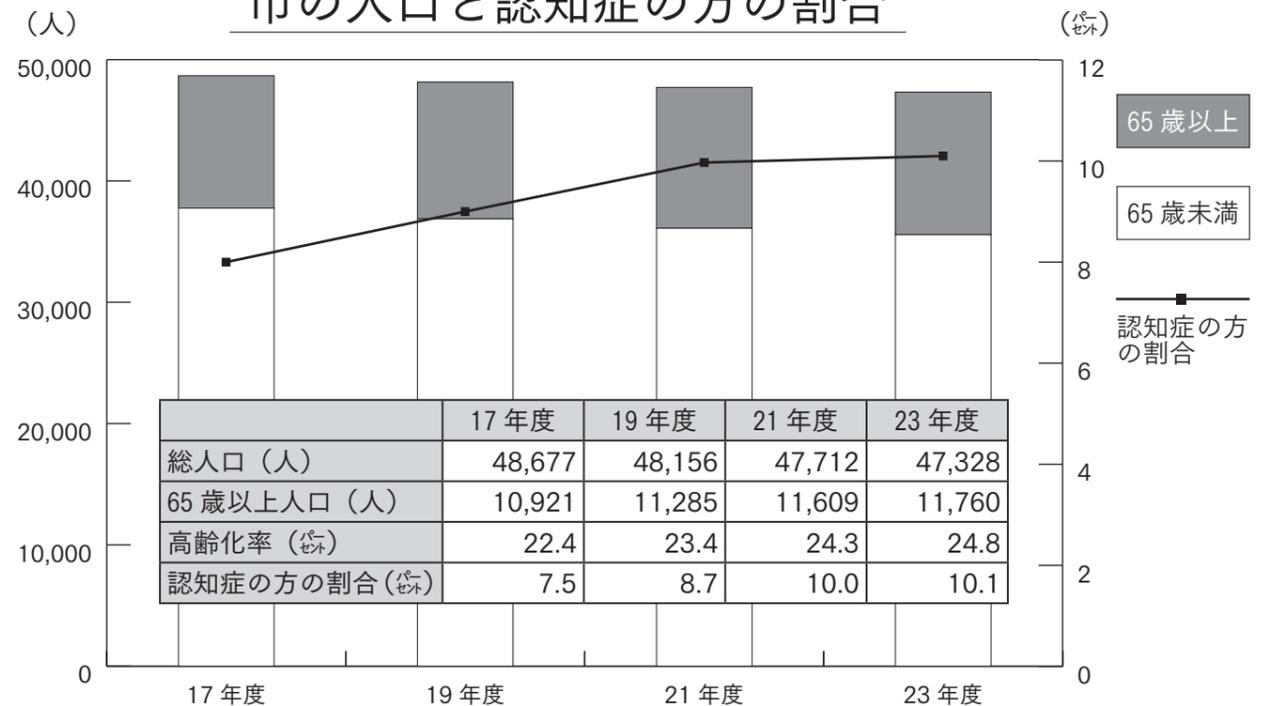
現在、日本は超高齢社会を迎え、深刻な問題になっているのが認知症です。年齢が上がるにつれ、認知症になる割合も増加していきます。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。現在全国の認知症患者数は約210万人といわれており、今後20年で倍増すると予想されています。

認知症の方を地域で支えていけるように、私たち一人一人が認知症についての正しい知識を身に付けていくことが必要です。

**介護予防の
情報かわら版**

市の人口と認知症の方の割合



※認知症の方の割合：65歳以上人口に占める「日常生活に支障を来すような症状・行動や意思の疎通の困難さが多少見える状態以上の方」の割合です。